

(19) 日本特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-72146

(P2000-72146A)

(43) 公開日 平成12年3月7日(2000.3.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別番号	F I	テコード [*] (参考)
B 6 5 D 19/38		B 6 5 D 19/38	Z 3 E 0 6 3
19/28		19/28	Z

審査請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 6 頁)

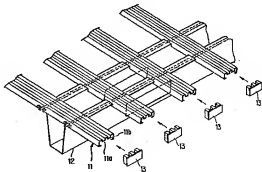
(21) 出願番号	特願平10-280409	(71) 出願人	390008350 東邦シートフレーム株式会社 東京都中央区日本橋3丁目12番2号
(22) 出願日	平成10年8月26日(1998.8.26)	(72) 発明者	山下 宏実 東京都中央区日本橋3丁目12番2号 東邦 シートフレーム株式会社内
		(73) 発明者	近藤 敏 東京都中央区日本橋3丁目12番2号 東邦 シートフレーム株式会社内
		(74) 代理人	100076727 弁理士 伊東 貞雄 Fターム(参考) 3E063 A407 BA01 BA05 CA05 EE01 G003

(54) 【発明の名称】 平らな荷受け用パレット

(57) 【要約】

【課題】断面コ字状の複数本の棧の端部にエッジカバーを被せることにより、その端部が物に当たって傷付けたりすることがなく、また、端部の強度を増した平らな荷受け用パレットを提供することを課題とする。

【解決手段】断面コ字状の複数本の棧11を、そのコ字状の開口部11aが所要の間隔で配設した棧受部材12に対向するように井桁状に組み立て固定した平らな荷受け用パレットであって、前記断面コ字状の複数本の棧11の端面11bにエッジカバー13を被せたことを特徴とする平らな荷受け用パレット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】断面コ字状の複数本の棧（11）を、そのコ字状の開口部（11a）が所要の間隔で配設した桟受部材（12）に対向するように井桁状に組み立て固定した平らな荷受け用バレットであって、前記断面コ字状の複数本の棧（11）の端面（11b）にエッジカバー（13）を被せたことを特徴とする平らな荷受け用バレット。

【請求項2】請求項1に記載のエッジカバー（13）は、断面コ字状の複数本の棧（11）の端面（11b）に個々に被せるようにしたことを特徴とする平らな荷受け用バレット。

【請求項3】請求項2に記載のエッジカバー（13）は、断面コ字状の棧（11）の内面（11c）に接合する接合面部（13a）と端面部（13b）とで形成されていることを特徴とする平らな荷受け用バレット。

【請求項4】請求項1に記載のエッジカバー（13）は、断面コ字状の複数本の棧（11, 11', ...）の端面（11b, 11b', ...）に一体に被せるようにしたことを特徴とする平らな荷受け用バレット。

【請求項5】請求項4に記載のエッジカバー（13）は、断面コ字状の複数本の棧（11, 11', ...）の外側面（11f, 11f', ...）に接合する接合面部（13a', 13a''）と端面部（13b'）とで形成されていることを特徴とする平らな荷受け用バレット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、例えばフォークリフトを用いて荷物の搬送を行う際に用いる平らな荷受け用バレットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より荷受け用のバレットとして、全体を合成樹脂材や金属材料などの板体により一体に形成し、脚部を基底部より下方へ突出形成した平らな荷受け用バレットが提案されている。例えば、特願平10-46135号のようなものがある。これは図5および図6に示すように、桟木取付杆6の貫通孔5を穿設した両側面部2bと、この両側面部2bの垂下縁端部2cから内方または外方に直角に折曲形成した折曲面内部2dとを有し、かつ、前記両側面部2b間において、所要数の四凸条2eを長手方向に平行に一体成形した頂面部2aを有する桟木2と、両側面部1aを有すると共に、この両側面部1aの上縁端部1bから内方または外方に直角に折曲形成した水平折曲片1cを有し、かつ、この水平折曲片1cと両側面部1aとに跨って形成した、前記桟木2をスライドにより挿入し得るすり割り4を所要数有する脚部となる断面はほぼU字状逆台形状の桟木受部材1よりなり、一對の桟木受部材1を所要の距離を隔てて両側にそれぞれ配設し、これら桟木受部材1のすり割り4に、前記桟木2をそれぞれ挿入して実質的にはほぼ

四角形の平らなバレットを構成し、前記桟木2の貫通孔5に桟木取付杆6を挿入して、一番外側の桟木2の側面部より外部にそれぞれ突出する桟木取付杆6の両端部を、この桟木取付杆が移動しないように固定具7により固定して構成した平らな荷受け用バレット3である。なお、前記桟木受部材1の両側面部1aには、フォーク10が挿入し得るフォーク挿入孔10aが穿設されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、前記従来の平らな荷受け用バレットは、各桟木2の端面がじかに露出しているため、物に当たって傷ついたり、各桟木2の端面の強度が弱いなどの問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明の平らな荷受け用バレットは、前記課題を解決することを目的とし、断面コ字状の複数本の棧11を、そのコ字状の開口部11aが所要の間隔で配設した桟受部材12に対向するように井桁状に組み立て固定した平らな荷受け用バレットであって、前記断面コ字状の複数本の棧11の端面11bにエッジカバー13を被せたことを特徴とする平らな荷受け用バレットとしたものである。

【0005】また、前記エッジカバー13は、断面コ字状の複数本の棧11の端面11bに個々に被せるようにしたことを特徴とする平らな荷受け用バレットとしたものである。

【0006】また、前記エッジカバー13は、断面コ字状の棧11の内面11cに接合する接合面部13aと端面部13bとで形成されていることを特徴とする平らな荷受け用バレットとしたものである。

【0007】また、前記エッジカバー13は、断面コ字状の複数本の棧11, 11', 11b, 11b', ...に一体に被せるようにしたことを特徴とする平らな荷受け用バレットとしたものである。

【0008】また、前記エッジカバー13は、断面コ字状の複数本の棧11, 11', ...の外側面11f, 11f', ...に接合する接合面部13a', 13a''と端面部13b'とで形成されていることを特徴とする平らな荷受け用バレットとしたものである。

【0009】

【実施の形態】以下、この発明の平らな荷受け用バレットの具体的な実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図1はこの発明の平らな荷受け用バレットの一部の斜視図であり、断面コ字状の複数本の棧11を、そのコ字状の開口部11aが所要の間隔で配設した桟受部材12に対向するように井桁状に組み立て固定した平らな荷受け用バレットであって、前記断面コ字状の棧11の端面11bにエッジカバー13を被せるように構成したものである。このような構成にすることにより、前記複数本の棧11の端面11bがじかに露出しない

り、その端部が物に当たって傷付たりすることがなくなる。なお、前記棧11や棧受部材12の材料としては、ステンレススチールや亜鉛メッキ鋼を折曲成形して作ることができる。また、エッジカバー13の材料としては、ステンレススチールや亜鉛メッキ鋼を折曲成形して作ったり、あるいはプラスチックを成形して作ることができる。

【0010】また、前記エッジカバー13は、図1および図2に示すように、断面コ字状の複数本の棧11の端面11bに個々に被せるように構成することができる。【0011】また、前記エッジカバー13は、図2に示すように、断面コ字状の棧11の内面11cに接合する接合面13aと端面13bとで形成することができる。このように形成されたエッジカバー13の接合面13aを、断面コ字状の棧11の内面11cに接合して被せることにより、断面コ字状の棧11の端面11bの強度が増す。なお、前記エッジカバー13の接合面13aにネジ孔あるいはタッピング孔13cを穿設し、このエッジカバー13の接合面13aを断面コ字状の棧11の内面11cに嵌合した後に、棧11の側面11d、11dに穿設した孔11e、11eから挿入したネジあるいはタッピングネジ14を、前記エッジカバー13のネジ孔あるいはタッピング孔13cに締めて、棧11の端面11bに被せたエッジカバー13を固定することができる。

【0012】また、図3および図4はエッジカバーの他の実施の形態を示すもので、図3はエッジカバーを断面コ字状の複数本の棧の端面に被せる前の状態を示す斜視図で、図4は被せた状態を示す斜視図であり、このエッジカバー13は、断面コ字状の複数本の棧11、11、・・・の端面11b、11b、・・・に一体に被せるようにしたものである。このようにすることにより、前記複数本の棧11、11、・・・の端面11b、11b、・・・がじかに露出さなくなり、その端部が物に当たって傷付たりすることがなくなる。また、複数本の棧11、11、・・・の端面11b、11b、・・・に一体に被せるようにすることにより、エッジカバー13の被せ作業を効率良く行うことができるようになる。なお、このエッジカバー13の材料としては、ステンレススチールや亜鉛メッキ鋼を折曲成形して作ったり、あるいはプラスチックを成形して作ることができる。

【0013】また、前記エッジカバー13は、断面コ字状の複数本の棧11、11、・・・の外側面11f、11f、・・・に接合する接合面13a'、13a'と端面13b'とで形成することができる。このように形成されたエッジカバー13の接合面13a'、13a'を、断面コ字状の複数本の棧11、11、・・・の外側面11f、11f、・・・に接合して被せることにより、断面コ字状の棧11の端面11bの強度が増す。なお、前記エッジカバー13の、棧11の一方の側面11

dに接合する接合面13a''は、他の接合面13a'より長く形成し、前記接合面13a''の端から中程に至る溝13dが形成され、この溝13dが断面コ字状の複数本の棧11を平らな荷受け用パレットに組み立てた連結棒11gに嵌合するようになっている。また、前記エッジカバー13の接合面13a''に孔13c'を穿設し、このエッジカバー13の接合面13a''および接合面13a''を断面コ字状の棧11の外側面11fおよび側面11dに嵌合した後に、前記エッジカバー13の接合面13a''に穿設した孔13c'から挿入したネジあるいはタッピングネジ14を、棧11の一方の側面11dに穿設したネジ孔あるいはタッピング孔11e'に締めて、棧11の端面11bに被せたエッジカバー13を固定することができる。

【0014】

【発明の効果】この発明の平らな荷受け用パレットは、以上説明したように、すなわち、断面コ字状の複数本の棧を、そのコ字状の開口部に所要の間隔で配設した棧受部材に対向するように井桁状に組み立て固定した平らな荷受け用パレットであって、前記断面コ字状の複数本の棧の端面にエッジカバーを被せるように構成することにより、前記複数本の棧の端面がじかに露出さなくなり、その端部が物に当たって傷付たりすることがなくなる。

【0015】また、前記エッジカバーは、断面コ字状の棧の端面に接合する接合面と端面とで形成し、このように形成されたエッジカバーの接合面を、断面コ字状の棧の端面に接合して被せることにより、断面コ字状の棧の端面の強度が増す。

【0016】また、前記エッジカバーは、断面コ字状の複数本の棧の端面に一体に被せるように形成することにより、前記複数本の棧の端面がじかに露出さなくなり、その端部が物に当たって傷付たりすることがなくなる。また、複数本の棧の端面にエッジカバーを一体に被せるようにすることにより、エッジカバーの被せ作業を効率良く行うことができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の平らな荷受け用パレットを構成する複数本の棧の端面にエッジカバーを被せる前の斜視図である。

【図2】この発明の平らな荷受け用パレットを構成する複数本の棧の端面にエッジカバーを被せる前の拡大斜視図である。

【図3】この発明の平らな荷受け用パレットを構成する複数本の棧の端面に他のエッジカバーを被せる前の斜視図である。

【図4】この発明の平らな荷受け用パレットを構成する複数本の棧の端面に他のエッジカバーを被せた後の斜視図である。

【図5】従来の平らな荷受け用パレットの斜視図であ

る。

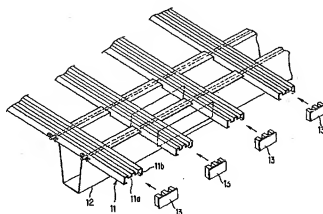
【図6】従来の平らな荷受け用パレットの一部の拡大斜視図である。

【符号の説明】

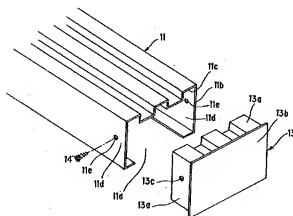
11 棧
 11 a コ字状の開口部
 11 b 端面
 11 c 内面
 11 d 側面
 11 e 孔
 11 e' タッピング孔
 11 f 外面

11 g 連結棒
 12 棧受部材
 13 エッジカバー
 13 a 接合面部
 13 a' 接合面部
 13 a'' 接合面部
 13 b 端面部
 13 b' 端面部
 13 c ネジ孔あるいはタッピング孔
 13 c' ネジ孔あるいはタッピング孔
 13 d 溝
 14 ネジあるいはタッピングネジ

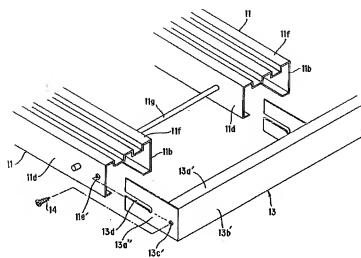
【図1】



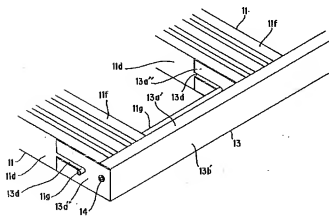
【図2】



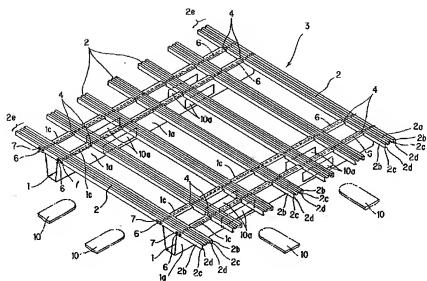
【圖3】



【圖4】



【圖5】



【圖6】

